

冬眠している場合ですか？

# 冬期集中ゼミ

12月25日スタートします。

## クラスコース (中学生)

1・2年生は、英語・数学を毎日、国語・社会・理科は、重要ポイント学習で復習します。3年生は、鹿児島県の公立入試問題に対応した「入試予想問題」を「テスト+解説」、さらに基礎から応用までの総まとめテキストで「演習+Q&A」で苦手分野を徹底的に学習します。

学年	学習日	学習時間	科目	講座費(税込み)	テスト費 教材費	合計
1年生	12月 25・26・ 27・28・ 29・(30)	19:00~21:50 (50分×3)	国語 数学	20,520円	2,700円 2,160円	25,380円
2年生	1月 4・5・ 6・7 ※30日は中3のみ	9:00~16:00 (60分×4) (50分×2)	英語 社会 理科		35,640円	

※中3年生はあとわずかです。

## 個別指導 コース (中学生)

## 生徒2人に先生1人

※横川校を省きます

学年	日数・時数	指導科目	会費	テスト費 教材費	合計
中1年 中2年	7日 50分×2コマ	2科目選択	21,260円	2,700円 1,510円	25,470円
中3年	7日 50分×2コマ	3科目選択 (5科目可)	32,600円	2,700円 3,240円	38,540円

指導時間帯【A・B・C・Dから選択】

A	B	C	D
10:00~11:45	16:00~17:45	18:00~19:45	20:00~21:45

※中3年生は、指導時間の1時間前に入試予想テスト(5日間)をします。(希望者・無料)

【県下統一模試】中1・2年生は1/6・7、中3年生は1/7に実施します。

少年老い易く  
学成り難し  
一寸の光陰  
軽んべからず

若いうちは、先は長いものだと思っているが、年月が過ぎるのは早くすぐに歳をとってしまうもの。反して学問は容易に修めがたいものであるから、若いうちから時間を惜しんで勉強に励むべきだということ。

## 受験を通して学ぶこと

### 1. 努力すること・自信をつけること

理解し暗記しそれを応用するという過程は、つらくて苦しいもの。それを工夫や努力で乗り越えようとする姿勢を培うこと。それが生きて行くうえでの自信(土台)となる。

### 2. 時間は有限であるということ

決して無限ではない。だから限られた時間を計画的に、大切に使わなければならない。

### 3. 最初の決断

自分の進むべき道に価値を見いだしたなら、それを達成するための方法・手段(進路先)を決めること。多くの人にアドバイスをもらっても決めるのは自分であること。人生の岐路の中の大事な第一歩を経験する。

### 4. 決めたことに一生懸命取り組み

#### その結果を受け入れること

誤解されると困るが、大事なことは合格することではない。後悔しないことである。

「自分の一番を」を  
めざして



## 国分教育ゼミナール

KOKUBU EDUCATION SEMINAR

- 国分校 霧島市国分清水1-22-52 ☎46-1266
- 横川校 霧島市横川町中ノ990-1 ☎72-9187
- 隼人教育ゼミナール 霧島市隼人町内山田1-8-15 ☎42-2822



## 隼人教育ゼミナール

HAYATO EDUCATION SEMINAR



# 2014年冬期特別号 ゼミナール通信 “鳥瞰するが如く”

## 学力を伸ばすには

よく、「学問に王道なし」と言われる。まさにその通りで、何でも楽しんで身に付くものはない。しかし、「一生懸命勉強しているけど伸びない」という人も多いものだ。それはその人が「頭が悪い」訳ではなく、必ず学習方法に問題があるものだ。次の3点をチェックしてみたい。

### 1. 規則正しい生活を送っているか?

人間を含めて地球上の動物には、生態のリズムがある。そのリズムが狂ってくると、能率低下や身体異常が生じる。例えば、人間の生態リズムは、夜は休息、昼は活動（勉強）に分けられているが、深夜遅くまで活動すると体の諸機能が必要以上に働くために、体内の酸素が予定以上に消費される。そのため、朝は酸素不足で体がだるく疲れを感じるのだという。

### 2. 授業の受け方は間違っていないか?

真面目に受けているのに伸びない人の中には「解答の丸写し」や「答え待ち」になっている人が多い。「基本事項・重要事項・解法のポイント」などの説明をしっかりノートに整理することが、学力向上の源になる。できれば予習をして、分からないところをチェックしておくことが授業を活かすことになる。

### 3. 復習に多くの時間をかけているか?

心理学者エビングハウスによれば、人は一日後には65%も忘れていくという。一生懸命勉強の成果を積み上げていく人にとって、いかに忘れないかは重要である。基本的内容の再確認、疑問点の解消ができていくかの確認、そして記憶すること。記憶する方法は色々ある。声を出したり、書いたり、または学校のノートを別のノートに整理し直す方法もよい。とにかく、あせって、色々な問題集に手を出すのではなく、ひたすら習ったことを復習すること。特に弱点教科では、復習に重点を置けば、思いのほか力がつくものである。

## “自分の一番” 賞おめでとう!

入塾時の成績と2学期の成績（中間テスト・実力テスト）を比較して、“自分の一番”を更新した生徒の例です。

※期末テストの順位はでていないため掲載できません。(11月29日現在)

生徒名	入塾時の順位	自分の一番	生徒名	入塾時の順位	自分の一番
Aくん(準人中)	18	5	Jさん(国分中)	86	59
Bくん(準人中)	33	21	Kさん(国分中)	100	61
Cさん(国分中)	44	29	Lさん(横川中)	11	6
Dくん(国分中)	69	35	Mさん(国分中)	71	44
Eさん(国分中)	83	30	Nさん(準人中)	131	64
Fくん(準人中)	105	50	Oくん(準人中)	169	125
Gくん(国分中)	82	55	Pくん(準人中)	185	135
Hさん(国分中)	57	42	Qさん(国分中)	150	92
Iくん(準人中)	208	125			

その他、多数が自分の一番を更新中です。

## 統一模試の伸び Best10

中3年生の8月（または10月）11月の模試との比較です。  
〔 〕は偏差値

1 Aくん(準人)	+86点	〔+9.9〕
2 Bくん(国分)	+77点	〔+8.4〕
3 Cさん(国分)	+62点	〔+7.0〕
4 Dくん(横川)	+48点	〔+6.7〕
5 Eさん(国分)	+43点	〔+6.5〕
6 Fさん(国分)	+41点	〔+6.3〕
7 Gさん(日当山)	+35点	〔+5.6〕
8 Hさん(日当山)	+40点	〔+5.0〕
9 Iさん(日当山)	+31点	〔+5.0〕
10 Jさん(国分)	+43点	〔+4.4〕

## 漢字検定

※当ゼミナールは漢検準会場です。

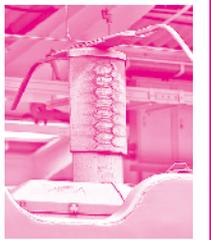
学年級	小学生	中1年	中2年	中3年(希望者)
準2				1
3		1	3	
4		2	6	
5	1	3	4	
6	4	3	3	
7	2			
8	2			
9				
10	1			

## ブログ便り

### ▶ 『バイオメティクス』という言葉を知っていますか?

「バイオメティクス」とは、生き物の構造とその機能から着想を得て、それらを人工的に再現することによって、工学や材料科学、医学などの様々な分野への応用を目指そうとする研究だそうです。言葉は知りませんでした。この考えは、私が理科好きになった理由の一つです。学生の頃に、「新幹線のパンタグラフ(屋根に付いているもの)に、騒音軽減の為にフクロウの翼と同じ工夫がされている。」ということのあるテレビ番組で話していたのを覚えています。昔から虫や動物が好きだったので、この「人が動物の知恵を借りる」という発想にとっても興味を持ちました。

他にどのようなものがあるのか調べてみると、サメの肌⇒競泳用の水着、蓮の葉⇒撥水性とセルフクリーニングの効果がある塗料、ヤモリの指⇒粘着剤が不必要な何度でも使える吸着テープ、蚊の血を吸う口⇒痛くない注射針など、多くの実用化されているもの、研究が進んでいるものがあるそうです。この分野の特徴として、研究を進めるためには生物学、物理学、化学、工学、医学などの大変広範な分野の研究者がしっかりと連携することが大切で、これまではなかなか混じり合うことのなかったような違う分野の研究も、実際に携わる研究者が一緒になって、同じ方向を向き、特定のテーマに向かって研究を進めることが重要だそうです。「身の回りのふしぎ」を考えてみる。チョットしたこと疑問をもつこと。勉強のための理科ではなく、『知りたい』という気持ちから始めてみると、理科は面白いですよ。(内村)



### ▶ 『夢の舞台へ』

甲子園といえば、阪神タイガースの本拠地、高校野球の春の選抜・夏の選手権、そして、秋のマスターズ甲子園…?

11月某日、阪神甲子園球場で「マスターズ甲子園2014第11回大会」がありました。「マスターズ甲子園」とは、全国の高校野球OB/OGが出身校別に同窓会チームを結成し、「甲子園」を目指す大会です。全国推定200万人の元高校球児の一人である私は、今年から母校・鶴丸高校のOBチームに参加し、鹿児島県大会予選を制し、運良く一年目にして、2014年の県代表として甲子園の土を踏むことになりました。



試合当日、開始時刻は午前8時の第一試合。対戦相手は三重県代表・宇治山田高校OBチーム。大会規定により9イニングもしくは1時間30分打ち切りという時間制限がありました。鶴丸の選手登録は45名、“全員が試合に出場する。9イニングまでやり切る。甲子園をたのしむ。”というのがチームの目標でした。まだ夜が明けない朝6時30分に球場入りし、室内練習場で軽いストレッチを済ませ、日が昇り始めたアルプススタンドで記念写真をパチリ。アルプススタンドからの景色はテレビで見る満員のスタンドと異なり、自分たちだけの「甲子園」を実感することができました。その後、1塁側ベンチに通され、憧れのグラウンドの土を踏むことになったのです。アルプススタンドからやや狭く感じられた球場が、グラウンドに立つと上空の秋晴れも重なり広々と感じられました。

さて試合の結果はといいますと、残念ながら4対7で敗れましたが、制限時間の15分前の7回裏2アウトから捕手として甲子園デビューを飾ることができました。また8回表には1打席だけ立つことができましたが、残念ながら凡退でした。短い時間の中で45人全員が出場することができ、また、規定回数の9回まで行い試合を成立させたことは大会始まって以来の快挙でした。この大会は、多くの学生ボランティアの方々に運営されており、その中には地元の中学・高校の吹奏楽部によるブラスバンドボランティアがありました。高校野球さながらの演奏。また、校歌が流れたときの感動はひとしおでした。

高校時代に憧れていた甲子園に、20年以上経ってから思いがけず出場することができました。母校・家族・仲間の存在にありがたみを感じ、改めて感謝の気持ちを持ちました。(四本)

### ▶ 『Free Hug』

11月30日(日)、広島市の平和公園を訪れた。

約1時間原爆記念館の中を見て回ったが、その悲惨さに沈痛な気持ちにならざるをえなかった。改めて戦争の愚かさや原子力の威力の恐ろしさを痛感し、世界で唯一の被爆国として世界に発信し続けなければならない責任もまた感じた。

記念館を後にして、世界遺産に登録されている原爆ドームへと足を運んでいる途中、数名の若い女性たち(たぶん大学生?)がFree Hugと書かれたプラカードを持っていることに気付いた。「自由なハグ(抱擁)」とは何だろう?と一瞬思ったが、なんだか面白そうだったのでニコニコしている彼女たちとのハグに参加した。

その日の夜、テレビを見ていると、アメリカの黒人少年が白人警察官に銃で撃たれた事件に対する抗議運動のニュースが流れていた。それに関連して、ある白人の警察官と黒人の少年がフリーハグしている映像が流れ、それが話題になっているとも報道していた。

フリーハグを検索し、動画サイトのYOUTUBEを開いてみた。一人の日本人の青年が韓国に渡り、日本と韓国の国旗とFor Peace(平和のために)と書かれた一枚のボードを手にして街頭に立っている。そんな彼を毛嫌う韓国人もいたが、多くの通行人が彼とハグをしている。

ただ少しだけハグするだけで平和を求める心は確かめ合えるんだと思うと、このハグはとてつもなく意味のある行動なんだと感じる一日だった。今日出会ったあの若者たちに感謝しなくては。(メーデーこやぎ)

## 座・閑話

## もう秋だというのに…

もう10月も終わりの頃だというのに、私の家の庭の片隅に現れた直径10センチほどの西瓜。季節外れのかわいさの姿に、「そなたは誰?何者?」とつい〇〇してしまうほどだった。

### Question

〇〇に漢字2字をいれて、おやし心をくすぐる文を完成させてください。(答えは裏にあります)